



え かんぼん 絵看板



商店街 Shop



高田本町商店街では、まちの回遊性向上を目指し、創業100年以上の店舗に創業当時の売り物や商売を表す絵看板を設置する「本町百年商店街プロジェクト」を行っています。インタビュー 絵看板で商店街をにぎやかに「馬出し」の意味を初めて知ったときの驚きがきっかけになり、まちの歴史に興味を持って調べていると、本町には創業から100年以上の老舗店が数多くあることが分かりました。お店とお店、さらに他の歴史景観スポットなどともつなぎ、まちの活性化に生かせないかと考え、出てきたアイデアが絵看板です。

製作にあたっては、江戸時代に使用されていたデザインを参考にしたものもありますが、ほとんどはユニークなオリジナルデザインで仕上げました。面白い表現が多く、目に止まりやすいですね。季節を問わず、イベントがないときにもいつでも来てもらえる仕組みづくりを進めていきたいです。



おおすぎや 大杉屋
みやこしき ねこ 宮越紀祢子さん
京都府出身。高田本町百年商店街プロジェクト代表。お馬出しプロジェクトなどの代表を務める。



さまざまな音楽とパフォーマンスで雁木の魅力を発信する「雁木通りミュージックフェスティバル（雁フェス）」が昨年10月に初開催されました。5ステージで55グループが出演し、歩行者天国にした大町5丁目通りでは、グルメやクラフトなど30店以上が出店しました。



インタビュー 音楽で雁木の良さを

音楽を通してなら気軽に雁木や町家の良さを伝えられると思い、このイベントを企画しました。ゲストも招きましたが、出演者の大半は一般の方。募集の際、バンド演奏がかなり多くなるのでは、と予想していましたが、意外にも琴や三味線などの和楽器演奏もあり、町家の雰囲気によく合っていました。

有名な仙台市内のジャズフェスティバルは、2日間で何十万人もの人が仙台のまちを訪れますが、初回当時の出演者は25組だったそうです。いずれは「雁フェス」も同じように大きく育ってほしいですね。



ふたば 二葉楽器 さとう のりお 佐藤 宣夫さん

雁木通りミュージックフェスティバル実行委員長。